

国土交通省 令和3年度第2回
サステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型) 採択

立命館アジア太平洋大学 新学部設置に伴う施設整備事業

提案者名

学校法人 立命館

作業協力者

株式会社 竹中工務店

人・地域を育み続ける学びの森

立命館アジア太平洋大学 Green Commons



立命館アジア太平洋大学 (APU) 概要

高崎山

別府湾

別府市街



正門

GREEN COMMONS



学生数
6000名

外国籍
学生・教員
50%

出身国
世界
106か国

別府市の郊外の丘の上(標高300m)に位置する多国籍・多文化共生キャンパス

「九州から世界へ」

九州の基幹産業「観光」を支え、さらに
地球規模の「環境問題」を解決できる人材を育てる
新学部「サステナビリティ観光学部」を開設

新学部

アジア太平洋学部

国際関係
文化・社会・メディア
グローバル経済

国際経営学部

会計・ファイナンス
マーケティング
経営戦略と組織
起業・組織管理

サステナビリティ 観光学部

持続可能な社会
観光

2023年春開設

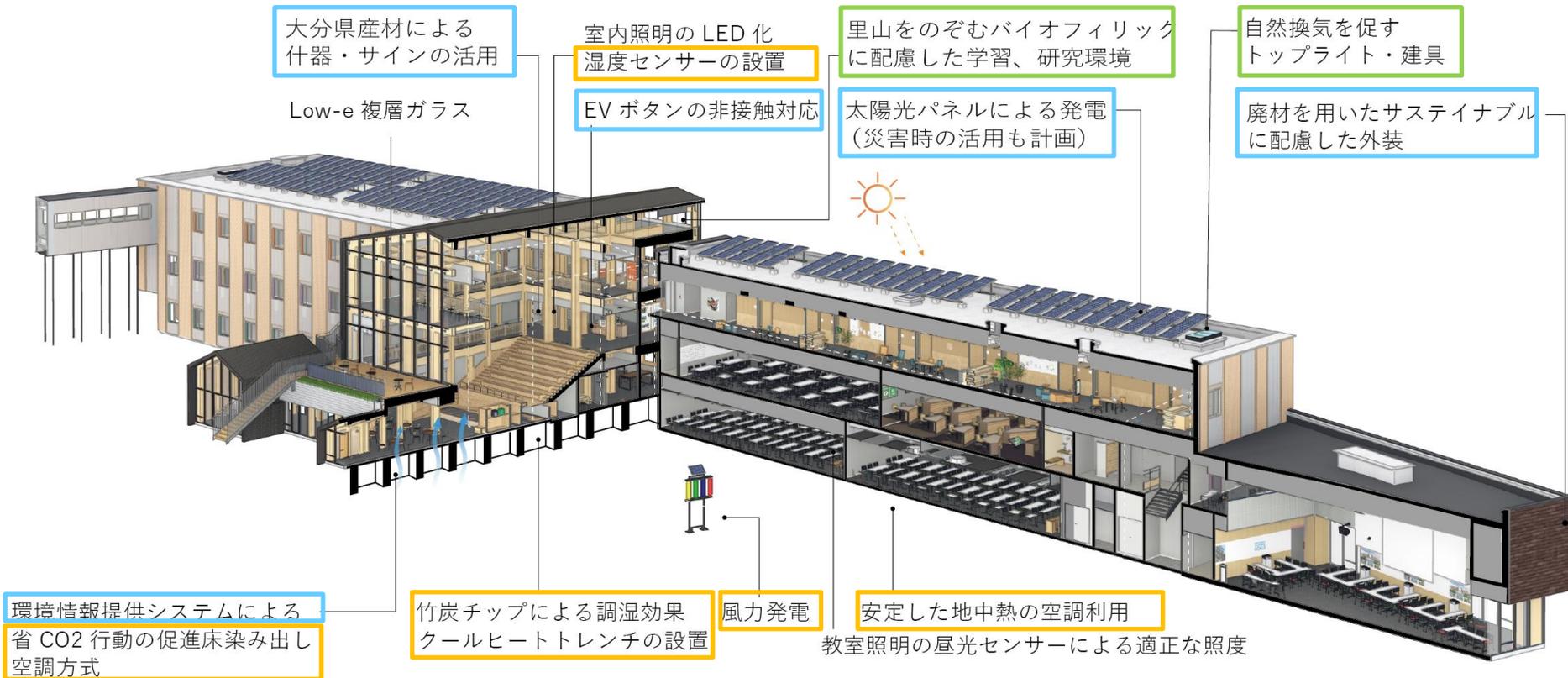
「第2の開学」と位置づけ、全学部生が利用する教学新棟を整備

環境ダイアグラム

地域の気候特性と共存し、多様な学びと省CO2を実現する屋内外の commons

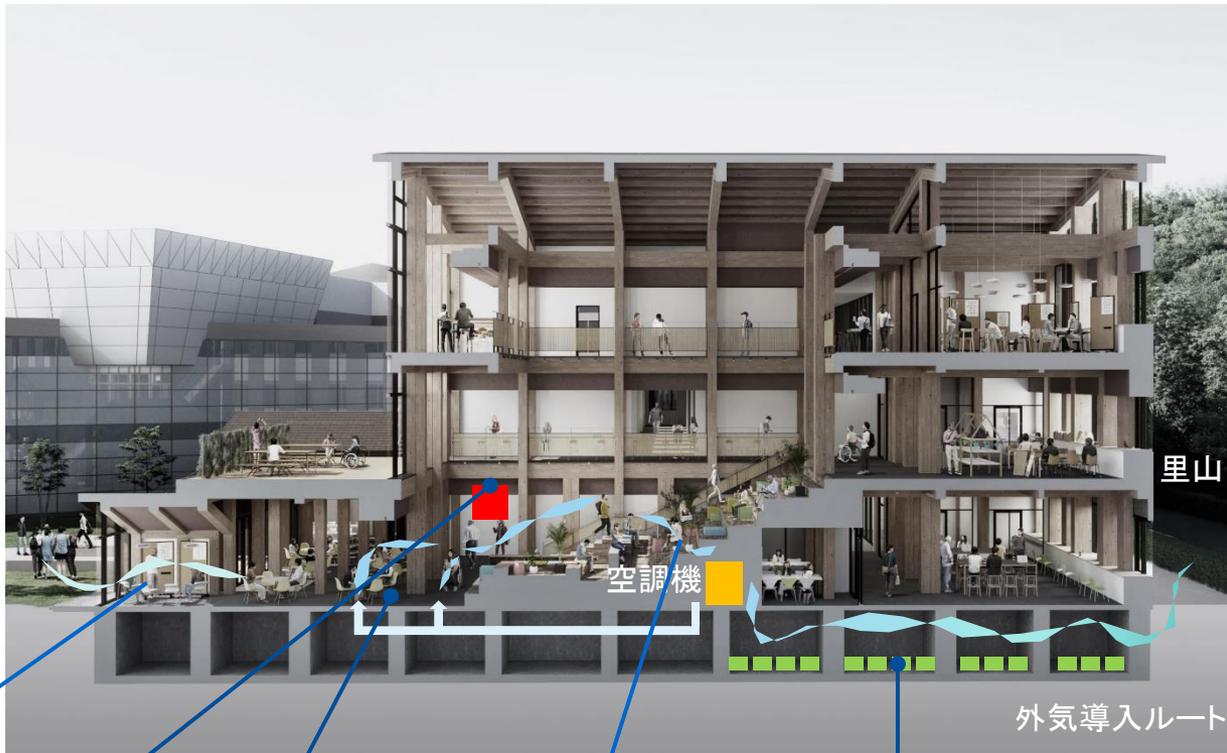
地域固有の環境技術を取り込んだキャンパス計画

環境教育により省CO2行動を促進するしくみ



地域固有の環境技術を取り込んだキャンパス計画

多湿な環境下で、大規模吹抜空間の空調エネルギーの最小化をめざす



窓の開閉による
換気ルート

換気を促す
音声画像案内

居住域空調
床下吹出口

居住域空調レタン
組込みベンチ

導入外気を
地元産竹炭で調湿

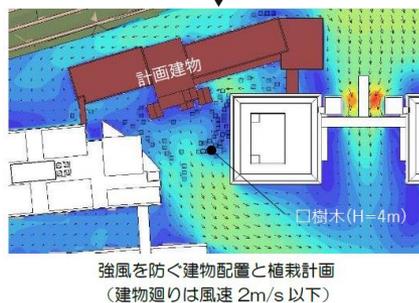
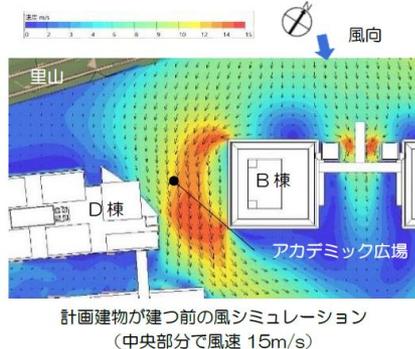


地域の気候特性と共存し、多様な学びと省CO2を実現する屋内外の commons

強風に配慮した
建物配置

風を和らげる
ランドスケープ

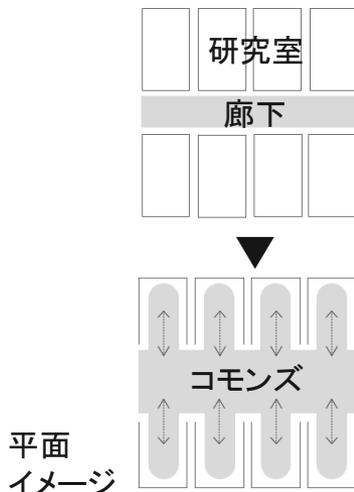
快適な
屋外 commons



大型引戸により
共用部とつながる
教員研究室

風の抜ける快適な
研究交流空間

研究室間のコミュニ
ティを活性化



地域固有の環境技術を取り込んだキャンパス計画

立地特性を生かした未利用エネルギーによる非常用電源の確保

弱まった風を活用した風力発電および蓄電



太陽光パネル発電(105KW)



地中熱利用空調の活用



環境教育により省CO2行動を促進するしくみ

地球環境の教材となる新棟グリーンcommons

アップサイクル材を
外装・外構利用



地元産スギ・タケを
内装に利用



留学生の集まる
インクルーシブな
教育空間を実現



環境教育により省CO2行動を促進するしくみ

地球環境の教材となる新棟グリーンcommons

年間1.3万人の
来訪者に対して
学生ボランティアが
環境建築の取組を
説明



説明の中心となるギャラリー

研究大学として
脱炭素社会の
実現をめざす



立命館学園
環境報告書

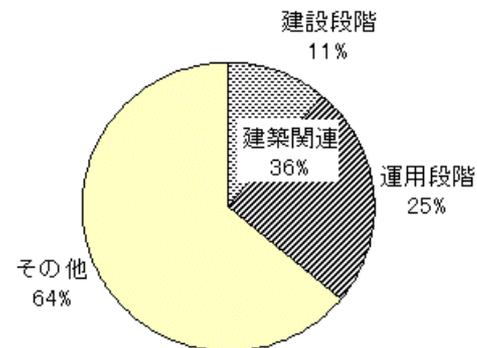


自然環境保護の
資材調達を
世界的認証取得



大分県や九州電力と
木材利用や脱炭素に
関する協定を締結

我が国のCO₂排出量における建築関連の割合



地元木材利用による建築段階の
温室効果ガス排出量の抑制